Panasonic®

・この工事説明書に記載されていない方法で施工され、それが原因で故障を生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。

SDファン（天井埋込形）工事説明書

用途	台所用
品番	FY-30SDM

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

⚠警告

■仕様変更・改造は絶対にしない

火災・感電・けがの原因となります。

■D種接地工事をおこなう

アース線接続

故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

■交流100ボルト以外で使用しない

火災・感電の原因となります。

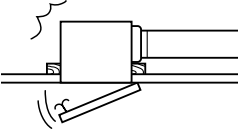
■メタルラス、ワイヤラス、または金属板張りの木造造営物に金属製ダクトを貫通する場合、メタルラス、ワイヤラス、金属板と接触しないように取り付ける

漏電した場合、火災の原因となります。

⚠注意

■本体は、十分強度のあるところにしっかり取り付け、強度不足の場合には補強する

落下により、けがをするおそれがあります。

■部品は確実に取り付ける

落下により、けがをするおそれがあります。

■配線工事は、電気設備技術基準や内線規程に従って、確実におこなう

誤った配線工事は、漏電、感電や火災のおそれがあります。

■浴室など、湿気の多いところに取り付けない

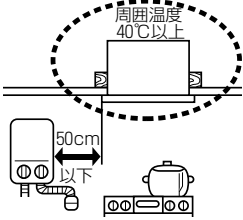
感電や故障の原因となります。

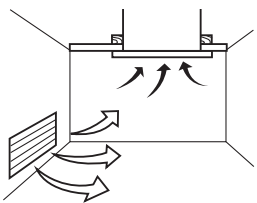
■本体は指定の方法で確実に取り付ける

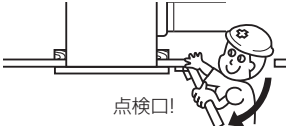
落下により、けがをするおそれがあります。

お願い

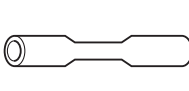
■高温になる場所（周囲温度40℃以上）に取り付けないでください。

製品の変形やモーターの寿命を縮めます。

■給気口を設けてください。

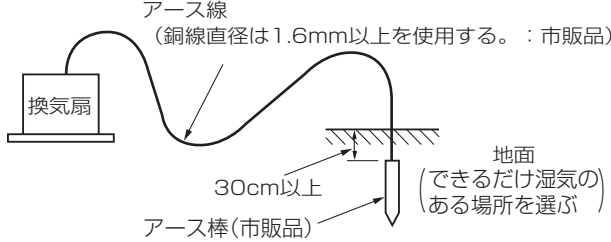
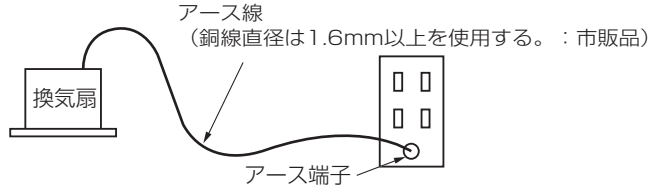
効果的な換気ができません。

■点検口を設けてください。

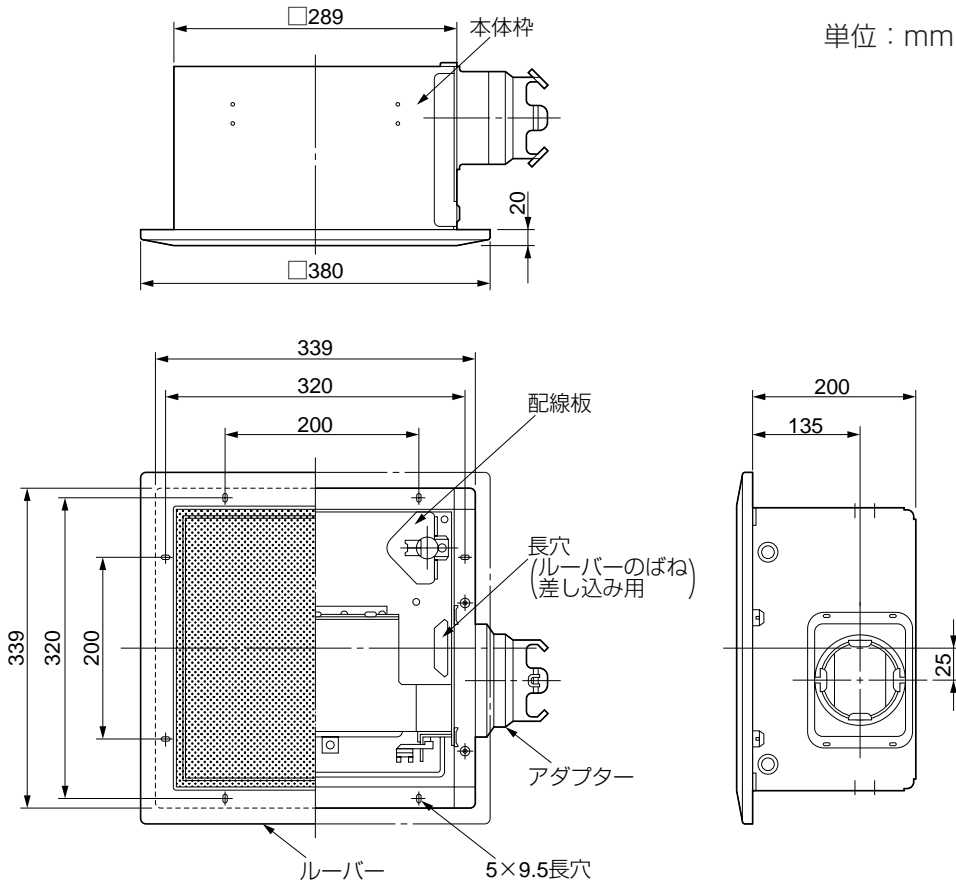
保守点検ができません。

■次のような配管工事はしないでください。

(1)極端な曲げ　(2)吐出口すぐそばでの曲げ

(3)多数回の曲げ　(4)接続ダクト径を小さくする

■アース工事は、次のいずれかの方法でおこなってください。

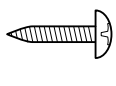
コンセントのアース端子にアース線を接続する場合

アース棒を使用される場合

各部の名前と寸法

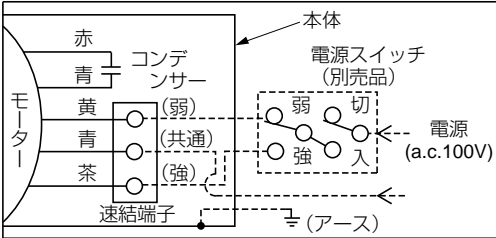
お願い　この製品専用の付属品あるいは指定のもの（別売品）以外は使用しないでください。

■同梱品

ルーバー　……………………1個	

■付属品

タッピンねじ　………………6個 （アダプター・本体枠取り付け用）
取扱説明書　…………………1冊 （必ずお客様にお渡しください。）

■接続ダクト（市販品）

呼び径	種類
φ100 （4番）	鋼板スパイラルダクト

■結線図

■電源スイッチはFY-SV11W（別売品）をご利用ください。

■結線図にしたがって正しく結線してください。結線を誤りますとモーターが焼損しますのでご注意ください。

■1個のスイッチで2台以上を並列運転しますとモーターが故障しますので絶対にやめてください。

施工方法　以下の手順にしたがって施工してください。

1-A 本体枠の取り付け（野縁利用の場合）

①木枠を作り、野縁に取り付ける。

■木枠には補強材を設けるなど十分に強度を持たせてください。

②アダプターを本体枠よりはずす。

③アダプターを木枠の隅に合わせて付属のタッピンねじ（2個）で取り付ける。

■傾いて取り付けないようにしてください。

④本体枠を木枠に挿入し、アダプターに装着する。

⑤本体枠を付属のタッピンねじ（4個）で取り付ける。

➡2へ

1-B 本体枠の取り付け（吊りボルト利用の場合）

①吊り金具FY-KB021（別売品）2セットをねじ（吊り金具付属）で取り付ける。

②本体枠を吊りボルト（市販品：M8～M10）に取り付ける。

■吊り金具取付位置

➡2へ

2 電源の接続

①ねじをはずして配線板を引き出す。

②電源コード（VVFケーブルφ1.6またはφ2）およびアース線をコードブッシングより本体枠内へ入れる。

③速結端子に電源コードの心線がとまるまで差し込み、アース線をアース端子に接続する。

④配線板を差し込み、ねじ止めする。

➡3へ

3 ダクトの接続と天井板のはり付け

①ダクト（市販品）をアダプターに差し込み、テープ（市販品）を巻いて固定する。

■ダクトは本体枠内に力がかからないように天井より吊り下げてください。

②天井板をフランジと2～5mmのすきまを設けてはり付ける。

■すきまがないと製品のメンテナンスができません。

③外壁面には、パイプフード（別売品）またはベントキャップ（別売品）を取り付ける。

■パイプフードまたはベントキャップの施工方法は、それぞれの工事説明書をお読みください。

➡4へ

4 試運転とルーバーの取り付け

①結線や取り付けに異常がないか確かめる。

切/入スイッチ	強弱切換スイッチ	動作
入	強	強運転
	弱	弱運転
切	―――	停止

②ルーバーのばねをせばめて、長穴に差し込んで固定する。

パナソニック株式会社
パナソニック エコシステムズ株式会社
〒486-8522　愛知県春日井市鷹来町字下仲田4017番
TEL(0568)81-1511

30SDM4010G-P0893-7012